

週報

感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	平成29年						平成30年																
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月 ~7日	10月 ~14日	10月 ~21日	10月 ~28日	11月 ~4日	11月 ~11日	11月 ~18日	11月 ~25日
カンピロバクター	142	87	98	161	109	84	37	39	48	105	75	71	122	98	160	22	34	32	25	28	34	23 (24)	23
病原性大腸菌	206	161	102	112	73	110	66	51	44	98	78	83	111	80	73	19	20	15	15	22	42	26 (29)	25
腸管出血性大腸菌	1	1	0	2	1	0	0	1	1	0	0	1	1	1	1	0	1	0	0	0	0	1	0
サルモネラ	18	29	9	12	16	3	3	1	1	5	3	20	12	22	13	5	3	0	1	0	1	2 (3)	1
黄色ブドウ球菌 MSSA	32	17	24	24	9	12	14	11	7	24	10	10	16	26	20	5	1	7	4	6	8	1 (2)	6
黄色ブドウ球菌 MRSA	27	16	22	19	15	16	12	11	13	12	12	17	14	11	18	2	0	3	2	5	6	1	5
腸炎ヒプリオ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	9	11	5	14	3	1	0	7	5	3	1	2	4	2	2	0	1	0	0	0	2	0	0
ロタウイルス	1	1	0	0	0	0	2	11	18	50	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	2	0	1	1	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	8	2	1	3	7	21	13	13	17	4	4	2	3	0	0	0	0	0	0	0	2	3	1

* () は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

広島県感染症発生動向週報

平成30年第47週(11月19日~11月25日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	5	結核	5			1		2	1	1
三類	1	腸管出血性大腸菌感染症	1					1		
四類	5	つつが虫病	5	1	1			3		
五類全数	15	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	3					1	2	
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1						1	
		侵襲性肺炎球菌感染症	1					1		
		梅毒	5					2		3
		百日咳	5			2		2	1	

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

定点・全数把握疾患週報【広島市】(第47週 11/19～11/25)

広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

1. つつが虫病

3件の報告があり、今年の累計は6件となりました。例年、この時期に報告数が多くなっています。山や草むらに入るとき、農作業を行うときは、長袖・長ズボン、帽子、手袋などを着用し、肌の露出を少なくしてダニ類の付着を防ぎ、屋外活動後は入浴してダニ類が付着していないかを確認しましょう。

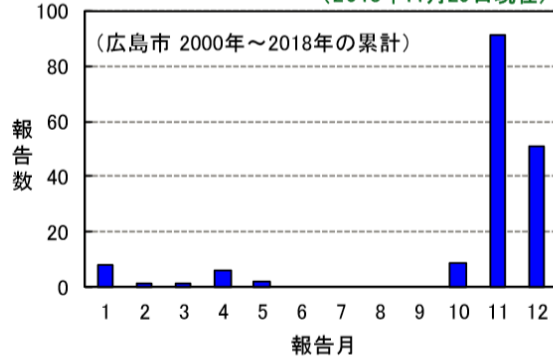
2. インフルエンザ

定点医療機関から31人(定点当たり0.84人、迅速診断キット:すべてA型陽性)の報告がありました。また、学級閉鎖等も2件報告されています。

健康管理に十分注意し、流行前のワクチン接種、手洗いや咳エチケットなどインフルエンザ対策を徹底しましょう。

つつが虫の月別報告数

(2018年11月25日現在)



【参考】ダニ媒介感染症(厚生労働省)

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164495.html>

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注) 過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注) 過去5年間	発生記号
フィルン	インフルエンザ	31	0.84	0.76	◇	小児科	流行性耳下腺炎	2	0.08	0.64	
	咽頭結膜熱	5	0.21	0.51	◇		RSウイルス感染症	6	0.25	0.84	
小児科	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	74	3.08	2.90	◇	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.10	
	感染性胃腸炎	161	6.71	10.13	◇		流行性角結膜炎	5	0.63	0.85	
	水痘	14	0.58	0.74	◇	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	9	0.38	0.62	▽		無菌性髄膜炎	-	-	0.06	
	伝染性紅斑	6	0.25	0.22	◇		マイコプラズマ肺炎	-	-	0.28	
	突発性発しん	6	0.25	0.42	◇		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	4	0.17	0.13	◇		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	

急増減 ↑ (赤) 前週と比較しておおむね 1:2以上の増減

増減 ↗ (黄) 前週と比較しておおむね 1:1.5～2の増減

微増減 ↘ (白) 前週と比較しておおむね 1:1.1～1.5の増減

横ばい ⇄ (白) ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	124	男性(20歳代)、女性(80歳代)
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	9	男性(60歳代)・O26・市外
4	つつが虫病	3	6	男性(60歳代)、男性(70歳代)、男性(80歳代)
5	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	15	男性(60歳代)
5	侵襲性肺炎球菌感染症	1	11	男性(10歳未満)
5	梅毒	2	102	女性(30歳代)、男性(40歳代)
5	百日咳	2	58	女性(10歳代)、女性(80歳代)

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	発熱(38.5) 頭痛	5	女	2018/10/16	咽頭拭い液	A群溶血性レンサ球菌T14/49
その他の呼吸器疾患	発熱 肺炎 重篤な喘息発作	1	男	2018/10/14	咽頭拭い液	ライノウイルス
その他の呼吸器疾患	咽頭炎	38	女	2018/10/16	咽頭拭い液	エンテロウイルス68型
その他の神経系疾患	発熱(40.0) 脳炎	12	男	2018/10/16	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載